

**過ごしてみたい場所づくり ～空間演出～ のプリントを手直しする**

手直しは、返されたプリントにやる。そこに書けない時は別紙を自分で用意しても良い（氏名を忘れずに）

**手直し1****No. 2 ①デザインする場所 ②テーマの確認と手直し****① デザインする場所**

実際に人がデザインし、作るのが空間演出です。人が作れる場所にしてください。

宇宙× 海× 森林× 火山×  
部屋○ 公園○ 舞台○ ショーウィンドウ○

**② ただのリビング、ただの公園、普通の部屋でデザイン（独自性）が評価しにくいので、しっかりとテーマでイメージを決めて、どこにこだわっているのかください。**

普通の落ち着いた部屋× よくある公園× 普通のテニスコート×  
海の中のような子供部屋○ 動物園をテーマにした公園○  
宇宙空間をイメージしたトレーニングルーム○

**手直し2****No.3 パーツごとのデザインを手直しする**

- ① パーツのデザイン（立体的に作るもの）も普通の物を作るのではデザイン性が評価しにくいです。テーマに合わせてオリジナルの物をデザインしましょう。基本的にその場所で使う物をデザインしましょう。（生き物やただの飾りは×）  
立体なので色や材質だけでなく、形そのものがデザインできるといいです。

(例)海の中のような子供部屋の場合

タコ型の椅子 貝殻の形のベット 魚の形の時計 など

※くれぐれも、ただの海やただの魚などのならないように。

※壁の模様が海なだけで、家具が全て普通では物足りないので気を付けて。

**② 板のデザイン**

☆板は次のことができます

切る 粘土をつける 自分の集めた材料をつける 絵を描く

☆床（Bの板）や壁（Aの板）をどんな材質にしたいのか、床や壁は平らなのか凸凹なのか、どんな模様や絵なのか、何が置かれているのか（貼られている、飾られているのか）まで考えてデザインしましょう。

**手直し3****No. 4 アイディアスケッチを手直しする**

手直し1、手直し2を受けて、アイディアスケッチも直しましょう。物の配置や大きさも大切です。パーツが小さくならないようにしましょう。また、高さも利用して作れると作品が充実します。同時に材料集めも進めておきましょう。

※授業開始と同時にどんどん作ります。材料や絵の具も初回から持ってくるようにしてください。  
(学校で配られるものは、「過ごしてみたい場所づくり No.1」のプリントに書いてあります)